

第10回

ほどがや健康塾

「高齢者の誰もが自分らしく暮らすために」

団塊の世代が75歳を迎える2025年にむけて、介護・医療ニーズや課題に対し、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていけるようにするには包括的な支援・サービス提供体制の構築が急がれています。

平成30年度「ほどがや健康塾」は、市民の皆様に地域包括ケアシステムをご紹介する機会としました。たくさんの方が学べます。ふるってご参加下さい。

日時 : 平成30年10月21日(日) 13時~15時(開場12時)
場所 : 保土ヶ谷公会堂 保土ヶ谷区星川1-2-1
参加費 : 無料 (先着500人 車いす席あり)
主催 : 一般社団法人 横浜市保土ヶ谷区医師会
問合せ : 045-335-6333 担当: 川上・小木曾・藤原

「地域包括ケアシステムについて考えよう」

講演1 「地域包括ケアシステムの構築に向けた保土ヶ谷区行動指針について」
保土ヶ谷区役所 高齢・障害支援課 課長 岩井 裕子氏

講演2 「地域包括ケアシステムにおける急性期病院の役割」
横浜市立市民病院 副病院長 兼 患者サポートセンター長 小松 弘一医師

講演3 「在宅医療を始める前の基礎知識 地域で最期まで自分らしく」
ゆう在宅クリニック 院長 田村 陽一医師

「病院紹介」

- 1 横浜市立市民病院
- 2 JCOH横浜保土ヶ谷中央病院
- 3 聖隷横浜病院

主催: 一般社団法人 横浜市保土ヶ谷区医師会
共催: 保土ヶ谷区役所
共催: 保土ヶ谷区在宅医療相談室

